

ハンネル コンガス (表紙の作品)

トゥルク、フィンランド

フィンランド原種の羊の毛を強撚糸に紡いで織ることで独自の表情と質感を創り出している。

作品名：フィンランドの羊毛の手織り

染料植物と使用部位

ウォード Isatis tinctoria 部位：葉、麩発酵建

ムツバアカネ Rubia tinctoria 部位：根

セイヨウイソノキ Rhamnus frangula, 部位：樹皮

ウォード乾燥葉、タマネギ Allium cepa 部位：外皮

ウォード 部位：生葉 フルクトース

ヴェルマ ボリヤード

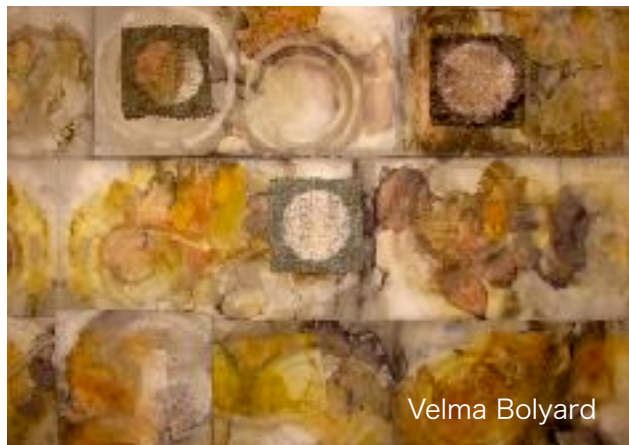
ニューヨーク州、U.S.A

作品名：Boco printed and shifu

内容：ボタニカルコンタクトプリント=植物と数種の金属板と紙布が接触した跡によるプリント、綿とヒマラヤのロクタ繊維を漉いた紙布にプリントした。

作品名：Artist' book : 12 Moon.

内容：Bocoプリントされたカバーと亜麻のプリント



染料植物：ニューヨーク州北部、自宅周辺に自生する植物、クワガタスマック、アキノキリンソウ他。

キャサリン エリス

ノースカロライナ州、U.S.A

作品名：ガーデンシリーズ Greens

サイズ：縦89cm×横114cm、2019年作

素材：経糸「綿」、緯糸「亜麻」

染料と技法：藍と複数の黄色染料植物で染め重ねた色で独立した布を織り、1つの作品に仕上げている

黄色染料植物と使用部位

オウゴン (黄芩) Scutellaria baicalensis 根

キバナモクセイソウ Reseda luteola 葉、花

ダイヤーズカモミール Anthemis tinctoria 花

ヒトツバエニシダ Genista tinctoria 葉、花、茎

マリーゴールド Tagetes sp 花

セイトカアワダチソウ Solidago sp. 花

ルバーブ (食用大黄) Rheum sp. 根

ナガバギシギシ Rumex crispus 根



2020国際天然の色展

会場：札幌モエレガラスのピラミッド

HIDAMARI, スペース1、2

日時：9月20日 (日) 13:00-17:00

21日 (月) 10:00-17:00

22日 (火) 10:00-15:00



天然の染料や顔料、繊維を使い、様々なテーマと技法で制作された織や染布、手漉和紙、衣装、絵画、カリグラフィー、立体作品と使用した材料を展示、出展作家が制作した作品制作映像や衣装を着用した舞踊映像、映像による藍建、沈澱藍製造、藍型と型染、更紗染ワークショップのダイジェストを放映します。



アジアで沈澱藍製造と藍建の指導、3種類の藍植物の確認、伝統技法の調査、確認と研究、次世代への技術継承分析結果の共有、インド南東部とヒマラヤ地区、タイ、マレーシアの工房と情報の共有と協力を継続しています

アズミール カリム | NILA x nysakapas

クアラルンプール、マレーシア

2015年～2019年、彼らは国際交流基金アジアセンター



のプロジェクトに選ばれ、5年間にわたって東南アジアと日本各地で天然染料と染色技法について調査、研修し藍染料の製造が途絶えたマレー半島のクアラルンプール近郊で藍植物栽培を復活させ、さらに技術研修を続けました。マレーシアは、ボルネオ島サラワク州に自生する蔓性藍植物を生葉でのみ染めています。2019年3月に、クアラルンプールで展覧会を開催、レポートと共に成果の作品を発表しました。

2020国際天然の色展では、天然藍を使用したシリーズ作品、トレンガヌ州カンポンセラダのバティック工房 nysakapasと共同で作成した和紙と藍、金泥のカリグラフィー作品とリネンのバティック作品を展示しています

<https://earthnetwork.or.jp>

パトリシア チーズマン | 工房 Naenna

チェンマイ、タイ

タイ国産綿と絹糸を絹糸に染め、いざり織機で織っています。染料植物はスオウ、アナトー、ヤエヤマアオキ、ジャックフルーツ他、藍植物は、リュウキュウアイ (Strobilanthes cusia)、インドアイ (Indigofera spp.) を栽培、沈澱藍を作り、発酵建をして、染織しています

